

令和5年度 八重瀬町立具志頭中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 国語科	
教科担当氏名	永井 亮太・小串 千夏	
教科書名	国語1(光村図書)	
副教材名 (問題集)	国語の学習1 (明治図書) 漢字の学習(光村教育図書)	ジャストスタディ (あかつき)

はじめに：本校教育目標：目標を持ち自ら学ぶ生徒 の育成を目指し、教科シラバスを示します。

具志頭中学校の皆さんが、将来この社会で支え合って生きていくための基礎的な知識と、自らの生活をより良くしていくための能力を育成するために、「目標（めあて）→目標を達成するための授業→目標が達成できたか確認するまとめ・振り返り」による「わかる授業」を実践します。

生徒の皆さんは、授業内容が将来に繋がることを意識し、与えられるだけで無く「自ら学ぶ」態度を養うことを心掛けて学習に取り組んでください。「自ら学ぶ力」がより良い将来の選択につながり、目標（夢）を達成する能力を養うことに繋がります。私たち職員も、教科の授業で、日頃の生活の中で、あなたたちが夢を実現できる力を身に付けられるように支えていきます。共に頑張りましょう。

1 国語科の学習について

学習のねらい	(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。 (3)言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
授業のすすめ方	(1)基本的な授業の流れは、①言語事項の基礎（ことわざ・慣用句等）②めあての提示③課題に取り組む（交流を元に、自分の考えをまとめる）④まとめ・振り返り の流れで進めていきます。 (2)「思考力・判断力・表現力」の力を付けるために学習すること。 ①「話すこと・聞くこと」に関しては、単元の学習や、音読発表や音読テスト、聞き取りテスト、友達の発表を聞いた感想やメモ等を通して学習を深めていきます。 ②「書くこと」に関しては、授業の中で自分の考えを書き、「意見文」、「読書感想文」や定期テストの課題作文の個別指導などを通して、基本的な文章作成の技術を身に付けていきます。 ③「読むこと」に関しては、教科書の本文を読んで考えたことや感じたことを友人と交流しながら「読み」を深めていきます。
学習上の留意点	国語は「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」をつけるための授業です。そのために (1)自分の意見を持ち、表現（記述・発表）しましょう。 (2)友人との意見交流を通して、多様なものの見方を知り、自分の考えを深め、広げましょう。 (3)大事な部分はメモを取り、後で見直して理解を深めましょう。 (4)授業の後は必ず復習をし、学んだことを定着させましょう。特に言語事項は何度か繰り返す内に定着します。自主的な学習を推奨します。

2 評価について

評価方法	評価は、3つの観点で行います。 (1)知識・技能…定期テスト、漢字テスト、単元テストなど (2)思考・判断・表現…定期テスト、意見文、感想文、授業の課題（ノート・ワークシート）、音読テスト、暗唱テスト、発表を聞いた感想など (3)主体的に学習に取り組む態度…授業態度、提出物、発表、課題への取り組みなど
定期テスト	定期テストは、2つの観点から出します。 ・知識・技能 …30～40% ・思考・判断・表現…60～70%（課題作文も適宜出題予定）

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	・教科開き ※学習内容や評価方法について説明する。 ・朝のリレー ・野原はうたう	国語の持ち物 ①教科書
5月	・シンシユン ・情報を整理して書こう ・ダイコンは大きな根？	②ノート ③ワーク（国語の学習）
6月	・ちょっと立ち止まって ・言葉のまとまりを考えよう ・話の構成を工夫しよう ・期末テスト	④漢字の学習 ⑤国語ファイル
7月	・詩の世界 ・比喻で広がる言葉の世界 ・本の中の中学生	⑥国語便覧 ⑦鉛筆（シャーペン）
8月	・大人になれなかった弟たちに・・・	※2本以上
9月	・星の花が降るころに ・聞き上手になろう ・推敲 ・中間テスト	⑧消しゴム ⑨赤ペン
10月	・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・根拠を示して説明しよう	⑩マーカー ⑪定規
11月	・話題や展開を捉えて話し合おう・蓬萊の球の枝「竹取物語」から ・今に生きる言葉 ・期末テスト	その他（あれば便利）
12月	・「不便」の価値を見つめ直す ・言葉の関係を考えよう ・考える人になろう	①国語辞典 ②漢和辞典
1月	・少年の日の思い出 ・単語の性質を見つけよう ・随筆二編	
2月	・構成や描写を工夫して書こう ・学年末テスト	
3月	・一年間の学びを振り返ろう	

4 授業をうける心構え

休み時間に学習用具を揃え、授業開始3分前には着席し、チャイムと同時に立腰・黙想をしよう。
 授業のめあてを確認し、課題がめあてにどう繋がるか意識して学習に取り組もう。
 積極的に発言・発表し、友達の意見と自分の意見を比べていく中で、自分のものの見方を広げよう。
 友達と協力して課題を解決する中で、どう伝えれば相手が理解するか、考えを伝える技術を磨こう。
 分からないことはそのままにせず、必ず質問して理解しよう。
 授業中に大事だと思ったことはメモをする習慣を付けよう。
 学習内容を振り返り、めあてが達成できたか確認しよう。
 宿題・提出物の期限を守り、計画的に学習する習慣を付けよう。

5 家庭学習のアドバイス

教科書を正確にすらすら読めるまで音読をすることで、自然に読解力と文法が身につきます。
 漢字はただ何度も書くだけではなく、自分でテストをしながら合格するまで繰り返すことが必要です。
 文法も覚えることが多いので、授業後の復習を忘れずにやりましょう。
 古文や漢文の有名な部分を暗唱することで、これからの古典の学習の基礎固めになります。暗唱が苦手な人も、だんだん上手に、速く覚えられるようになってきます。あきらめないで頑張りましょう。
 テストで間違えた問題をもう一度考えてみるのが、次の正解に繋がります。
 自分の苦手な分野を把握し、少しずつでも取り組んでいきましょう。